

会議録（要点筆記）

会議名	平成 27 年度 第 5 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	平成 27 年 9 月 29 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
開催場所	みやま市役所 中会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 第 4 回創生会議録について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 人口ビジョン及び総合戦略（案）について ② 今後の取組みについて 3 その他 4 閉会
委員出席者	牛嶋委員、廣井委員、金子委員、岩切委員、内田委員、相澤委員、江藤委員、林田委員、塚原委員、松浦委員、大賀委員、森田委員、松藤委員、末吉委員、瀬口委員、宮本委員
欠席者	大城委員、今村委員
事務局等	塚野総務部長、坂田企画財政課長、山田企画財政課長補佐、長岡大津教育部長、待鳥指導主事
傍聴者数	2 名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 第 4 回みやま市まち・ひと・しごと創生会議 会議録 ・資料 2 「みやま市人口ビジョン」及び「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（案）

1. 開会

<坂田企画財政課長より開会>

2. 議事

(1) 報告事項

【会 長】 報告事項について事務局より説明をお願いします。

<事務局より、以下の説明>

「資料1」：第4回みやま市まち・ひと・しごと創生会議会議録

【会 長】 何か質問・意見はないか。

<質問・意見なし>

(2) 協議事項

【会 長】 協議事項について事務局から説明をお願いします。

【事務局】 人口ビジョンについては、前回から変更がないため、説明は割愛する。総合戦略については、変更点を中心に説明する。

<事務局より、以下の説明>

「資料3」：「みやま市人口ビジョン」及び

「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)

【会 長】 何か質問・意見はないか。

【委 員】 64 ページの評価指標の基準値に「100」とあるがわかりづらい。どういう意味か。

【教育委員会】 今の生徒の状況を100としている。

【委 員】 何を持って測るのか。

【教育委員会】 「挑戦力に対する意識」では、アンケート調査を実施した結果や、夢ノートの記述内容などから判断していきたい。

- 【委員】 現状の評価をどう考えていくかが基本となる。もう少し説明が必要ではないか。
- 【教育委員会】 現状の生徒の状況を 100 としているが、ご指摘のとおりもう少し精査が必要と思われる。
- 【会長】 読書量については、定量的な計測が可能。挑戦力、あいさつに対する意識については、数値化が難しい。客観的、定量的な見直しが可能なのかという観点で、指標の見直しをお願いしたい。
- 【委員】 前回会議で中学校の学力低下の対策について質問した。回答をお願いしたい。
- 【教育委員会】 現在中学校では、『中学校学校力向上推進プロジェクト』を立ち上げており、4つの部会を設置している。組織力向上、教師力向上、授業力向上、生徒力向上の4つを掲げて推進している。
- 【委員】 組織力の向上のためには目標を定めることが大事。それを意識して頑張っていたきたい。戦略の修正等については、会長と事務局に一任する。
- 【委員】 前回会議で、小学生が卒業後に中高一貫校へ進学する理由の把握をということでお願いしていた。理由の説明をお願いしたい。
- 【教育委員会】 昨年度、中高一貫校へ進学した児童数は 19 名。理由の一つに、中高一貫校へ進学した場合、入試が軽減されることがあげられる。また、落ち着いた雰囲気でも学力向上も期待できることを求められたのではないか。みやま市の学校も、学力向上、体力向上を目指し、仲良く楽しく学校に行けるような教育環境づくりを目指していかなくてはならないと考えている。
- 【委員】 もう少し詳しく原因を調べた方がいいのではないか。推薦問題も原因としてあると思われる。評価をして優劣のレッテルを張るため、生徒が委縮した学校生活を送らなければならない。そのことも一因としてあると思われるので、その打開策も考えないと今後さらに増えていくのではないか。

- 【教育委員会】 推薦制度については、県立高校・私学とも規定が設けられており、四校ともそれに準じた取り扱いをしている。情報の交換はするが、それぞれの学校で規定に基づき厳格に実施しているので、今まで通り行わせていただく。
- 【会 長】 優秀な生徒が中高一貫校へ進学していくということは、市にとってもマイナスな面があると思われるので、それを引き留められるような施策が盛り込めるのであれば盛り込んでいきたいと思う。問題状況は分かったので、事務局と相談し検討したい。
- 【委 員】 55 ページのアンテナショップについて、市民に周知する意味でもアンテナショップの名前を公募してはどうか。
- 【事 務 局】 ネーミングについては、市民に広く知ってもらうように、公募する方法も含めて今後検討したい。
- 【委 員】 62 ページの「市民一人当たり都市公園面積」の目標値について、一人当たりとなっているので人口減少を考慮するとこの数値はいかかなものか。合計の面積や公園の数で表した方がいいのではないか。
- 【事 務 局】 他市との比較をする場合に、市民一人当たりの数値の方が比較しやすいという面があるので、このように設定させていただいているので、ご理解をお願いしたい。他に測り方があれば検討したい。
- 【委 員】 58 ページのHEMS設置者数について、どのような世代が利用しているのか。
- 【事 務 局】 手元にデータがない。市内の世代の平均とさほど変わらないのではないかと思われる。見守りサービス等もあるので、今後は高齢世帯への拡大も重視していかなくてはならないと思う。
- 【委 員】 74 ページのまちづくり制度について、評価をしながら追加で助成をしていくような方法も検討していただきたい。
- 【事 務 局】 他市の先進的な取り組みが多数あるので、委員のご提案も含めてそれらを参考に検討していきたい。

- 【委員】 66 ページの県内平均寿命ランキングについて、順位が書いてあるが何歳なのか。
- 【事務局】 基準値において、男性 78.7 歳、女性 86.2 歳。目標値において、男性 79.3 歳、女性 86.8 歳となっている。
- 【会長】 年齢も併せて表記した方がわかりやすい。
- 【事務局】 併せて表記させていただく。
- 【委員】 74 ページの「協働のまちづくり」の取組み内容について、前回と比べて文言の言い回しが後退したように思われるが何か意図はあるのか。また、本制度は常設のものとして設置するのか。
- 【事務局】 言い回しについては、特段意味はない。他の文面との足並みをそろえた。行政改革の観点からも実施することに変わりはない。制度は常設のものとして要綱をつくる。認定の方法については今後検討となる。
- 【委員】 67 ページの健康寿命について、健康寿命の定義を教えてください。
- 【事務局】 介護が必要かどうかである。
- 【会長】 41 ページに「目指すべき都市像」を新しく入れてもらっているが、総合計画が前段としてあるのでそれを実現する上で本戦略が必要だということで、「総合戦略の位置づけ」の中に記述をお願いしたい。それと、50 ページのロープウェイの記述について、メンテナンスやコスト等を考えると、財政面から見ても持続可能かどうか疑問がある。アクセスの面では山頂まで行ける道路整備の方が、優先順位が高いのではないかと。ご検討いただきたい。それと、76 ページの文言について、第三者が書いているような表記が見られるので確認したい。
- 【事務局】 「目指すべき都市像」については、ご指摘の通り、「総合戦略の位置づけ」の中に入れ込む形で修正させていただく。ロープウェイについては、市長公約の関連もあるので、目玉施策として入れさせていただきます。財政面は過疎債の活用を考えたい。76 ページの文言

については、ご指摘のとおり修正したい。

- 【委員】 48 ページのイノシシの農産物被害額について、数字の出所をはっきりさせておいてはどうか。それと、67 ページの健康まちづくり事業にスポーツに関する表記があり、72 ページにもスポーツに関連する表記があるが、スポーツ宣言都市として一体として表記してはどうか。
- 【事務局】 健康づくりと地域振興と観点が別なので、施策を分けて書かせていただいている。
- 【委員】 48 ページに農事組合法人の表記があるが、30 件まで増やすには説明会などの努力が必要と思われる。農事組合法人になると畦道の草刈りや山の道づくりなどがしにくくなり荒れてしまうというマイナス面もある。法人化しやすいところと、しにくいところと地域性もある。
- 【事務局】 農事組合法人については、ここ数年で数件できた。まだ仕組みに慣れない点があると思われるが、増やしていきたい。農業の多面的機能が落ちるのではないかとのご指摘であるが、そうならないように努めたい。一律に法人化を進めていくのではなく、地域性は考えていかななくてはならないと思っている。
- 【委員】 人が住むためには住む場所が必要だと思われるが、そのあたりは表記しなくてもいいのか。
- 【事務局】 56 ページに書いているように、未利用地を活用した宅地の造成を考えている。
- 【会長】 住む場所がないから住む人が少ないのではないか、ということがあまり盛り込まれていないと思われるので、可能な範囲で追加してほしい。
- 【事務局】 検討する。
- 【委員】 住宅施策については、都市計画の線引きの問題がある。その問題が解決できるように、これからも努めてほしい。

【事務局】 都市計画の線引きの撤廃についてはかなり難しいが、区域指定などできるところから実施している。

【会長】 他に質問・意見はないか。

<質問・意見なし>

【会長】 では、今後の取組みについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】 10月5日の全員協議会で報告する。併せてパブリックコメントを実施する。本日いただいた意見について、修正を行いたい、修正は会長、副会長、事務局に一任いただきたい。それと、完成した総合戦略の市長への提出についても会長、副会長、事務局に一任いただきたい。

【会長】 よろしいか。

【委員一同】 良し。

3. その他

【事務局】 来年度以降、検証していく際にはご協力賜りたい。

(午後3時00分 閉会)